

王朝文化への憧れ — 雅の系譜

2022年 I期 3月20日(日)～5月15日(日) II期 5月22日(日)～7月18日(月・祝)

〔休館日〕5月16日(月)～5月21日(土) 〔開催時間〕10時～17時(入館は16時30分まで)

〔拝観料〕一般800円(65歳以上・大学生600円・中高生300円・小学生200円)※般の方に限り、20名様以上は団体割引で各700円

〔主催〕相国寺承天閣美術館 京都新聞 〔協賛〕一般財団法人 萬年会 鹿苑寺 慈照寺

あはれて

いづれ

へん

らん

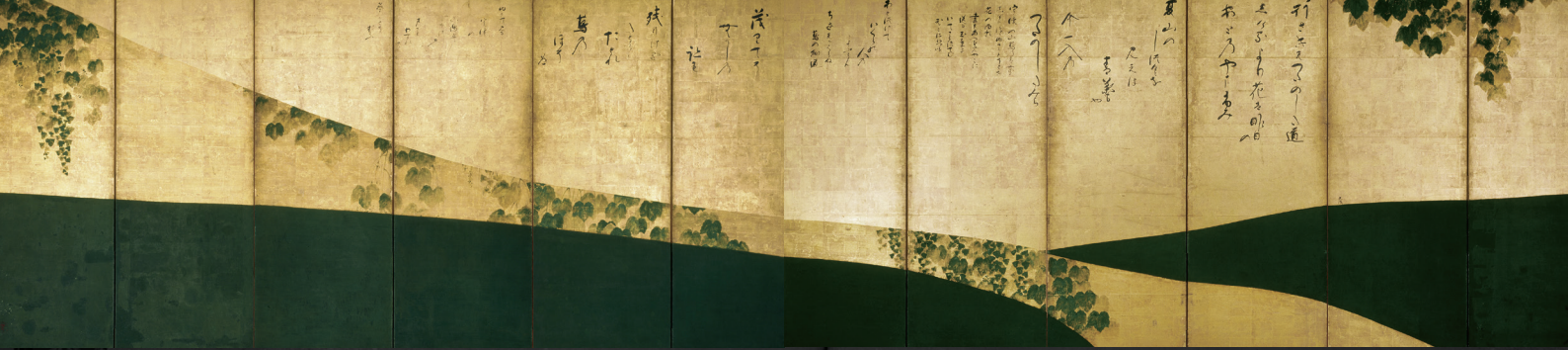
ちみちのうね

葛の細道

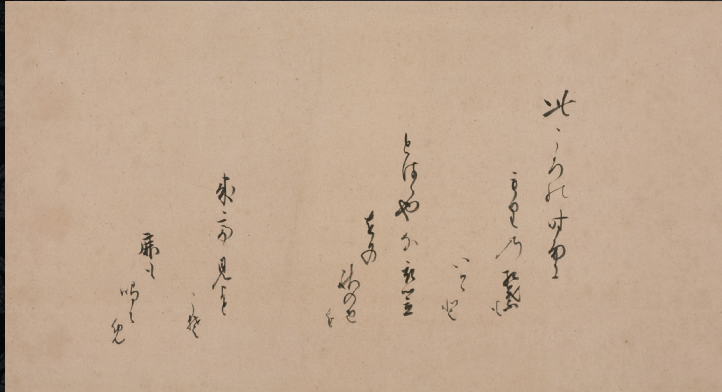


相国寺承天閣美術館
Shokokuji Jotenkaku Museum





重要文化財 萬の細道図屏風 俵屋宗達筆 相国寺蔵 II期



後水尾天皇宸翰和歌詠 此ころの時雨に 鹿苑寺蔵 II期



重要文化財 佐竹本三十六歌仙絵 断簡 源公忠 相国寺蔵 I期

王朝文化への憧れ — 雅の系譜

貴族文化の華やかなりし平安時代。

その王朝のみやびへの憧れは、現代の我々のみならず、江戸時代の人々も強く抱いていました。

『伊勢物語』と『源氏物語』はその憧れの世界が描かれた代表的な王朝文学です。

物語で鮮やかに浮かび上がる在原業平の恋物語、光源氏の人生絵巻。

そこでは、多くの和歌が詠まれ、後世の歌詠みの規範ともなりました。

また、相国寺は和歌史に燦然とその名を残す藤原定家の墓所として、ゆかりの寺宝を有しています。

さらに桂離宮や古今伝授で有名な八条宮智仁親王の菩提所として

塔頭の慈照院には宮家ゆかりの寺宝が多く伝来しています。

本展観では、江戸時代に描かれた伊勢・源氏の屏風絵とともに、江戸時代の公家の和歌や絵画を紹介します。

江戸時代、京で復興した王朝文化の世界をご堪能ください。



【関連イベント】
当館ホームページでご確認ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会期の変更、入場制限を行う場合があります。
最新の情報は当館ホームページでご確認ください。
ご来館にあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大防止にご理解とご協力をお願い申し上げます。

- ・来館時はマスクをご着用ください。
- ・美術館入口で検温を実施いたします。37.5度以上の発熱が認められた場合は入館をご遠慮ください。

- ▶ JR京都駅より京都市営地下鉄「今出川」駅下車 3番出口から徒歩8分
- ▶ 阪急電車烏丸駅より京都市営地下鉄「今出川」駅下車 3番出口から徒歩8分
- ▶ 京阪電車「出町柳」駅3番出口より 徒歩20分、
または市バス59・201・203号系統「同志社前」下車 徒歩6分
市バス102号系統(洛バス)「烏丸今出川」下車 徒歩8分



重要文化財 源氏夕顔蒔絵手箱 相国寺蔵 I期